

# 都市圏における愛媛への移住・交流の意向について ～"癒しの国・四国"交流・定住促進フェア アンケートより～

四国4県は、平成19年10月に東京・大阪で開催された“癒しの国・四国”交流・定住促進フェアなどの機会を捉えて、四国への交流・定住ニーズに関するアンケート調査を行った。

ここでは、アンケート結果について愛媛県を中心に分析を試み、都市圏における愛媛への移住・交流の意向について明らかにしたい。

## 1. "癒しの国・四国"交流・定住促進フェア

四国4県の連携事業として「ふるさと回帰フェア2007」のフェアインフェアとして開催された。フェアでは、移住や滞在先としての四国の魅力をアピールするとともに、同じく4県連携事業で行うモニターステイツアー『「癒しの国」四国で暮らす1週間』の案内などが行われた。

### ◎ふるさと回帰フェア2007

日時：平成19年10月6日(日) 10:00～16:00

場所：大手町サンケイプラザ

(東京都千代田区大手町1-6-1)

### ◎ふるさと回帰フェア2007 in おおさか

日時：平成19年10月27日(土) 11:00～17:00

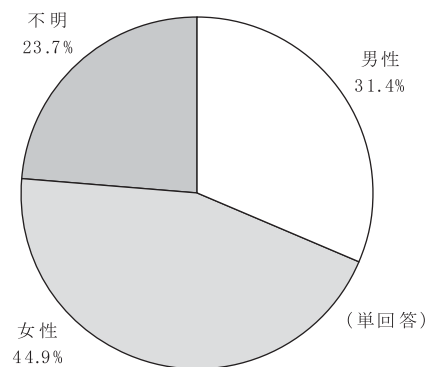
場所：なんばパークス

(大阪府大阪市浪速区難波中2-10-70)

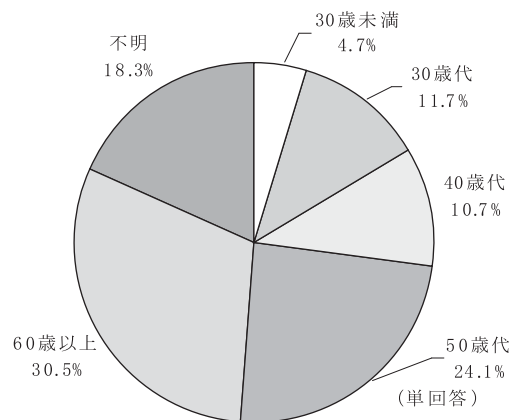
## 2. アンケート回答者の概要

サンプル数：東京755 大阪331 合計1,086

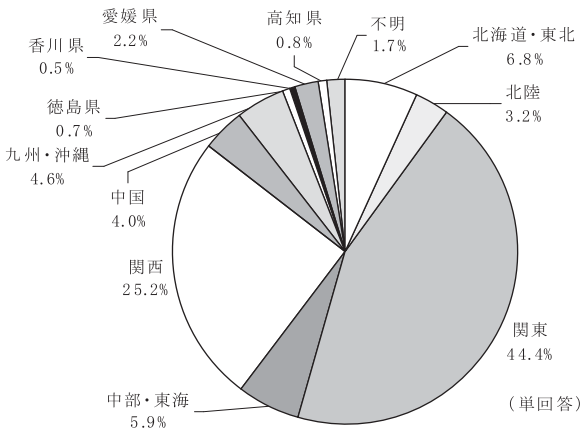
回答者は、東京、大阪とも女性が多い。年代は50歳以上が半数以上を占めている。



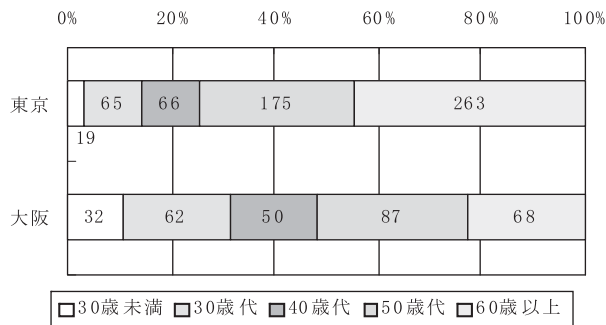
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
東京			男性, 213		女性, 336	
大阪			男性, 128		女性, 152	



回答者の出身地を見ると、アンケート会場である関東、関西が多くなっている。

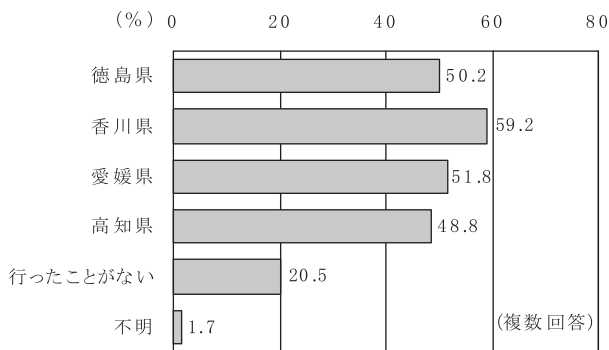


会場別の年齢構成では、大阪のほうが若い年代が多くなっている。これは大阪会場が若者の多く集まる商業施設内であったためと考えられる。



### 3. アンケート結果

#### (1) 四国に行ったことはありますか。



行ったことがないという回答が2割程度であり、回答者の8割近くが四国へ行ったことがある。訪問先は香川県がトップである。

#### (2) 四国に行ったことがある方、四国では、どこで何をしましたか。(記述式)

##### 【回答の多かったキーワード】

- ①観光 169
- ②うどん 108
- ③温泉・入浴・風呂 86
- ④金比羅・琴平 81
- ⑤道後 62
- ⑥高知 52
- ⑦帰省・里帰り・実家 52
- ⑧遍路・八十八・巡礼 35
- ⑨松山 33
- ⑩阿波踊り 31

観光地の名前が多く挙げられており、観光目的の訪問が多いことが伺える。また、帰省、仕事などの回答も見られた。

#### (3) 「四国」と聞いて何をイメージしますか。(記述式)

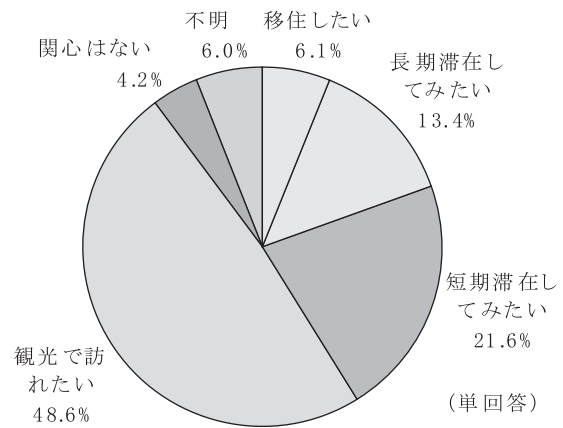
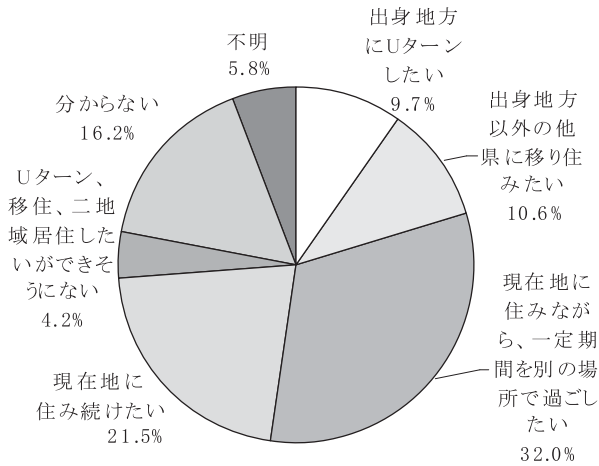
##### 【回答の多かったキーワード】

- ①うどん 235
- ②遍路・八十八ヶ所 120
- ③海・青い海 89
- ④みかん・伊予柑 76
- ⑤阿波踊り 66
- ⑥温泉 59
- ⑦四万十 56
- ⑧自然 44
- ⑨坂本龍馬(竜馬) 42
- ⑩道後 41

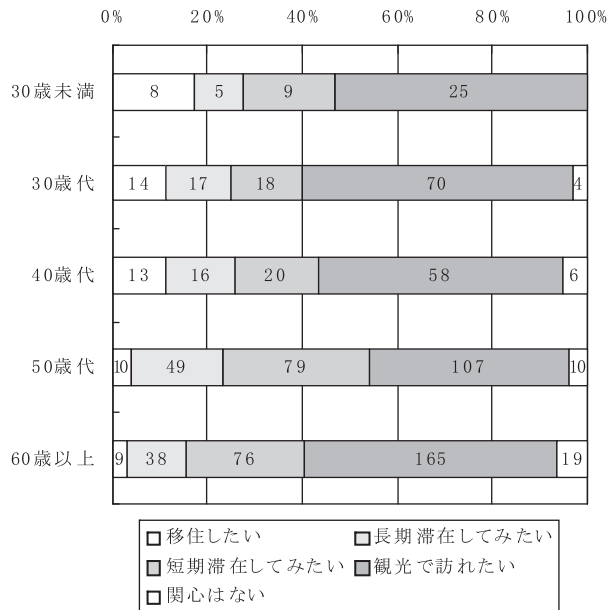
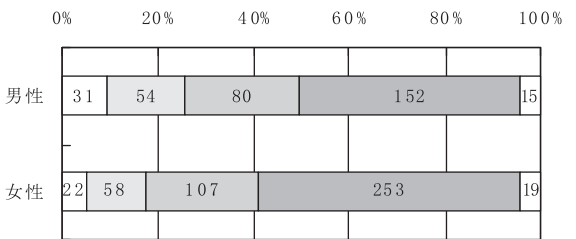
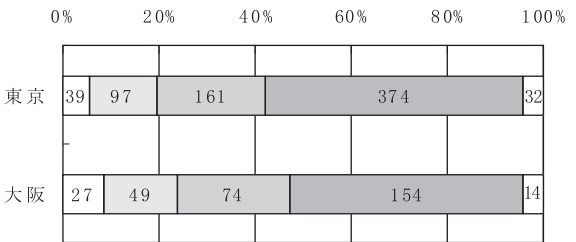
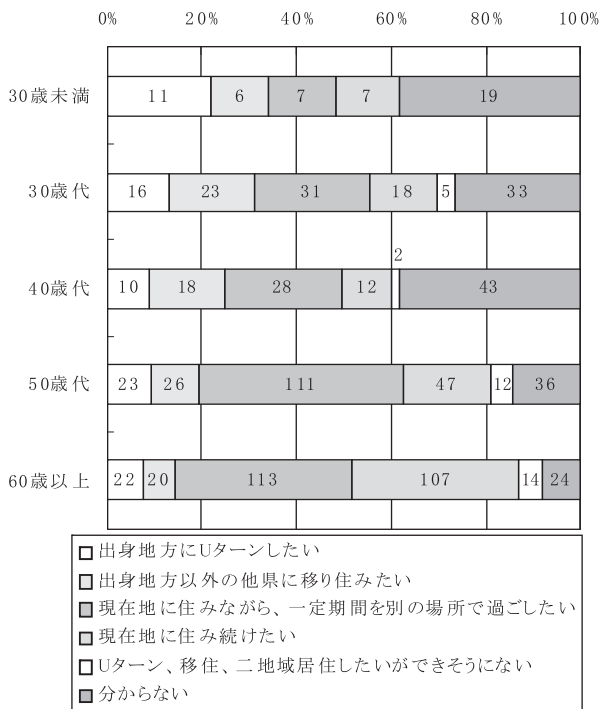
「うどん」のイメージは圧倒的であった。お遍路の人氣も根強い。また「海」「四万十」「自然」「みかん」など、自然のイメージが強い点に特徴が見られる。

「温暖」「のんびり」「のどか」「人が優しい」といった肯定的なイメージや「田舎」「台風」「不便」「遠い」などのやや否定的な回答も見られた。

(4) 子育て終了後や定年退職後の暮らしについて、どのようにお考えですか。



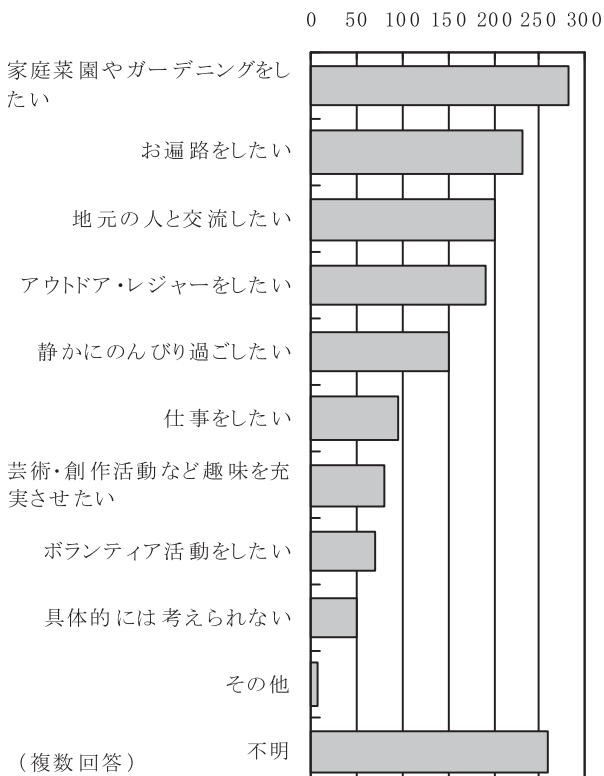
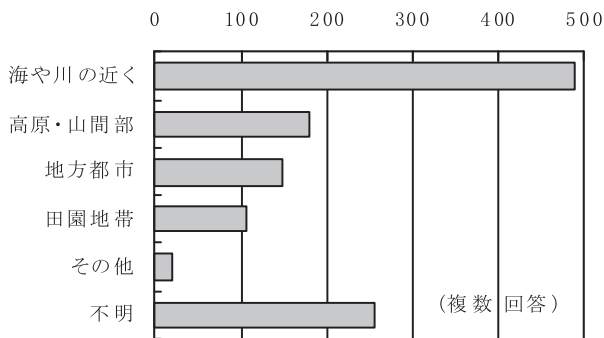
移住や長期滞在、短期滞在の希望者が4割以上を占めている。移住希望者を対象としたイベントであることも、影響していると考えられる。



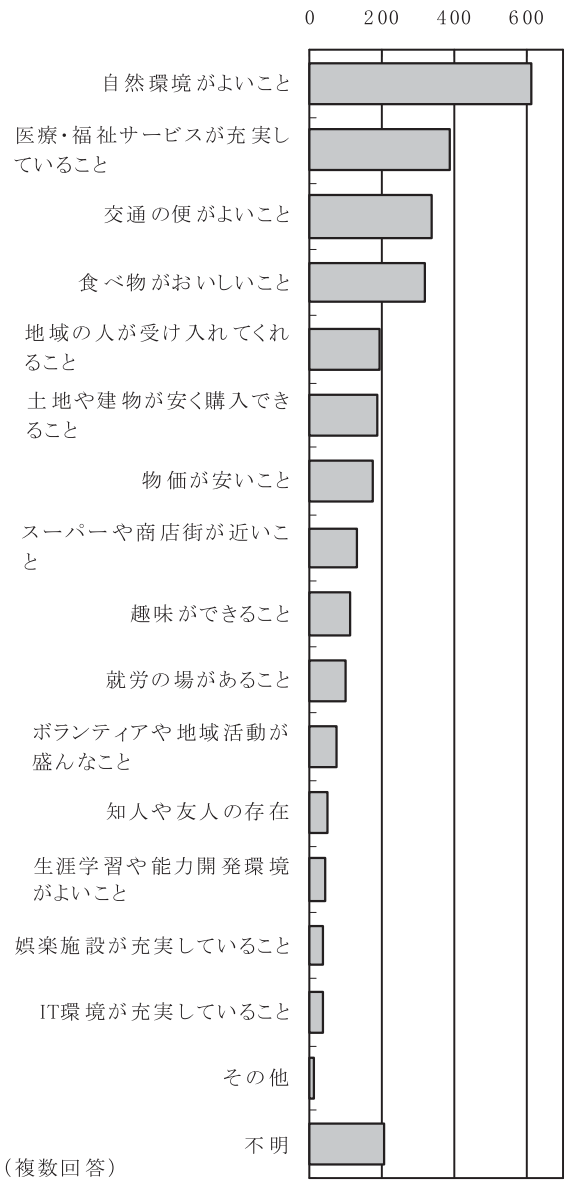
(5) 四国での短期や長期での滞在、または移住にご関心はありますか。

移住や滞在希望者は、東京より大阪、女性より男性が多い。年代別では、50歳以上より40歳代以下のほうが移住の希望が高く、50歳代は移住ではなく中短期の滞在を望んでいる。60歳以上は、50歳代よりも移住や滞在を希望する率が減少している。

(6) もし四国に移住もしくは中・長期滞在するとしたらどんな場所で暮らしたいですか。また、滞在中に何をしてみたいですか。

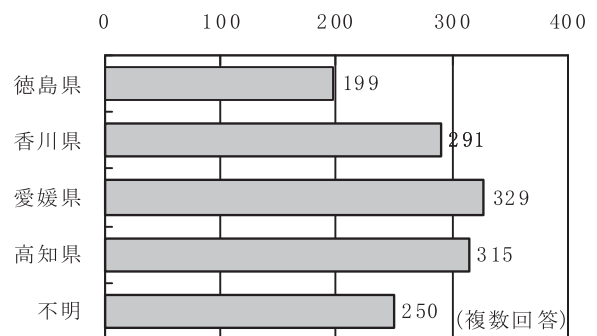


(7) もし四国に移住もしくは中・長期滞在するとしたら、どのような条件が必要ですか。



(8) 四国ではどの県に滞在してみたいですか。

また、具体的な地域・市町村がございましたらご記入願います。



【具体的な地域・市町村など】

- ①松山 36
- ②高松 14
- ③高知 12
- ④四万十 12
- ⑤徳島市 5

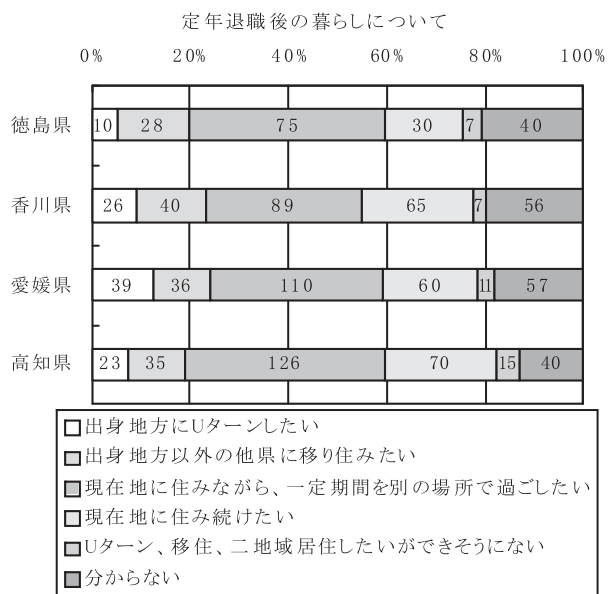
【愛媛県内で名前があがった他の地域】

宇和島市、今治市、大洲市、八幡浜市、  
 伊方～三崎町の辺り、鬼北、吉田町、佐田岬

四国の中では、愛媛県が滞在先として人気が高い。愛媛県内の地域としては、松山が最も多く挙がっており、他には南予の市町が見られた。

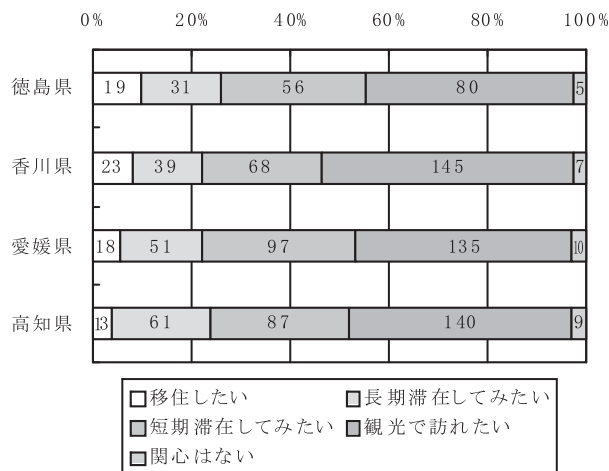
4. 四国4県ごとの違い

四国で滞在したい県を選んだ人の状況を県別に比較してみる。



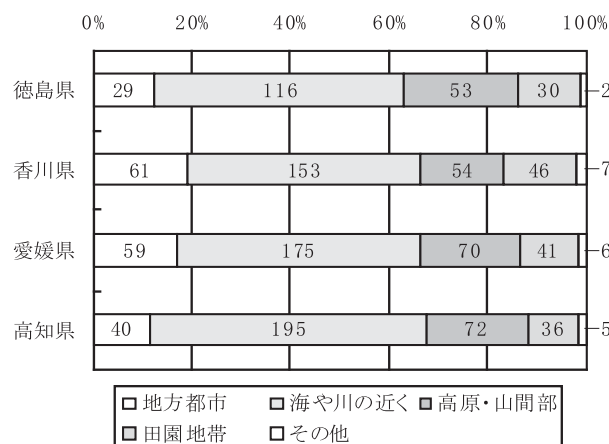
大きな差ではないが、愛媛県のUターン希望者が他県より多いこと、香川県は二地域居住の希望者が比較的少ないことなどの違いが見られる。

四国への滞在や移住に関心はありますか

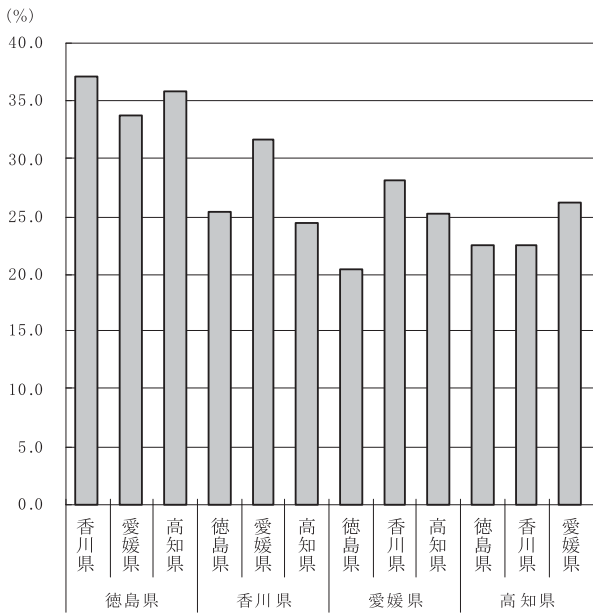


香川県は移住や滞在ではなく観光で訪れたいとの声が多くなっている。また、高知県への移住希望が少ない。

四国ではどんな場所で暮らしたいですか



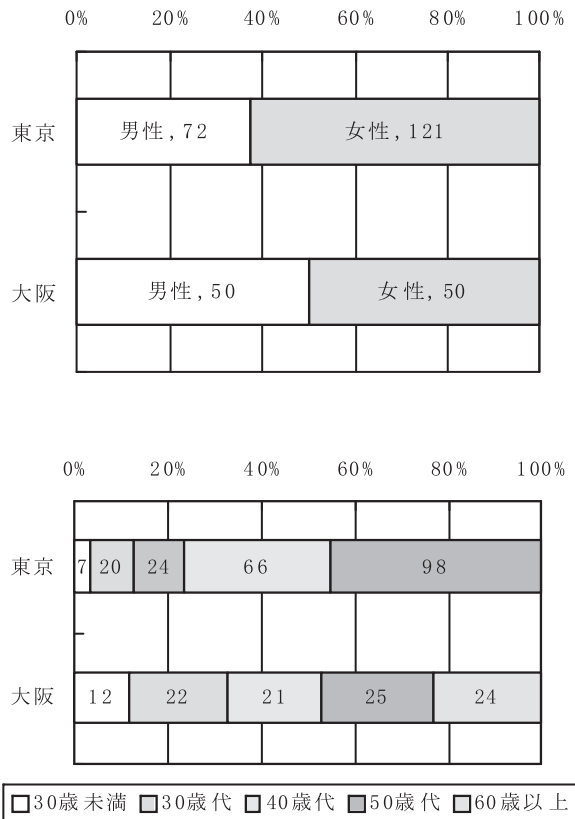
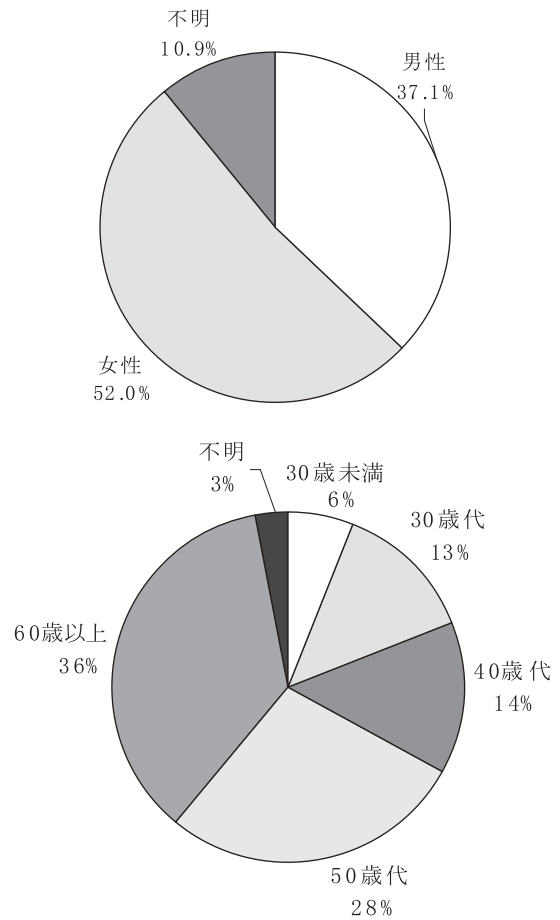
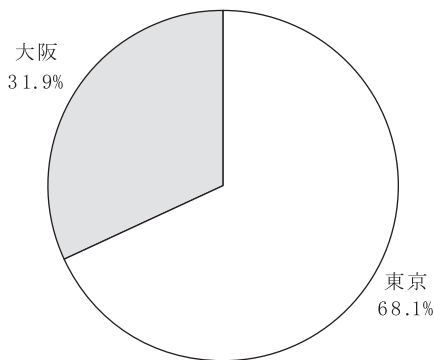
いずれの県でも海や川の近くを望む声が多いが、地方都市（県庁所在地）を希望するのは、香川と愛媛が比較的多くなっている。



県別の滞在先を選んだ人が同時に選んだ四国内の他県をグラフに表すと、徳島県を選んだ人は四国の他県も同時に選ぶ率が高く、愛媛県と高知県は単独指名率が比較的高いことがわかる。また、香川と愛媛は他の2県と比べ同時に選ばれることが多い。

### 5. 愛媛滞在希望者の分析

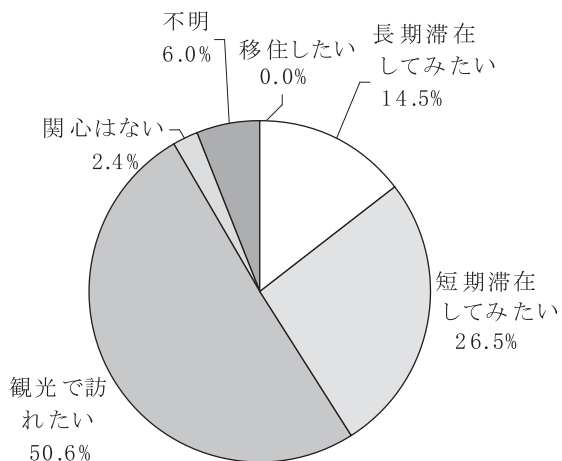
四国ではどの県に滞在してみたいですかの質問に、愛媛県と答えた人について、さらに分析を加えると次のとおりとなる。



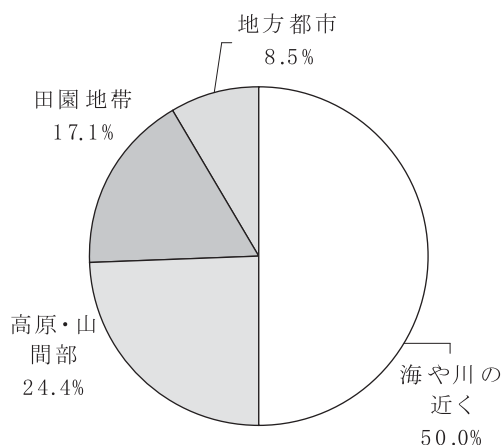
都市圏における愛媛への移住・交流の意向について  
 ～“癒しの国・四国”交流・定住促進フェア アンケートより～

会場別のデータを見ると、愛媛への滞在を希望しているのは、東京の50歳以上女性が多いことがわかる。

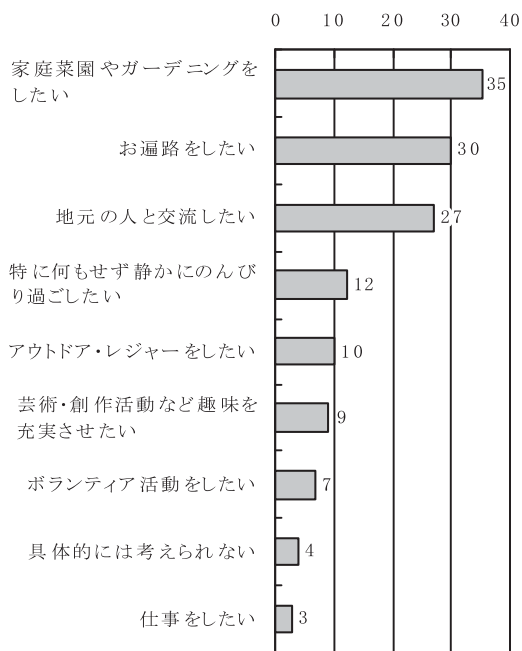
そこで、アンケートに答えてくれた、愛媛での滞在を希望する東京の50歳以上女性83名について、以下で、詳しく見てみる。



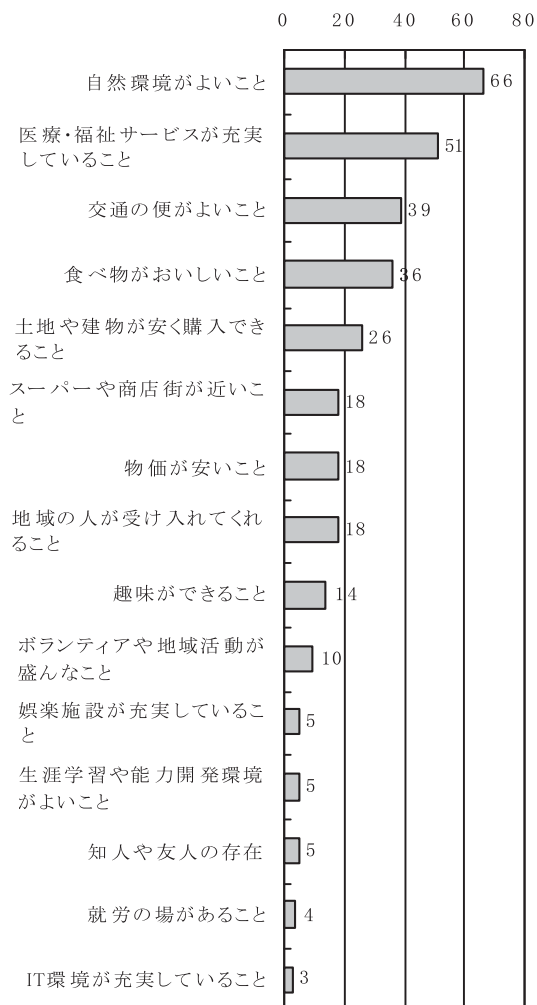
四国への移住・滞在の関心を見ると、愛媛での滞在を希望する東京の50歳以上女性のなかには、移住希望者はなく、観光を含めた短期長期滞在を希望する声が大半である。



滞在先としては、海や川の近くの希望が半数を占めており、次いで高原・山間部と、自然志向が強い。



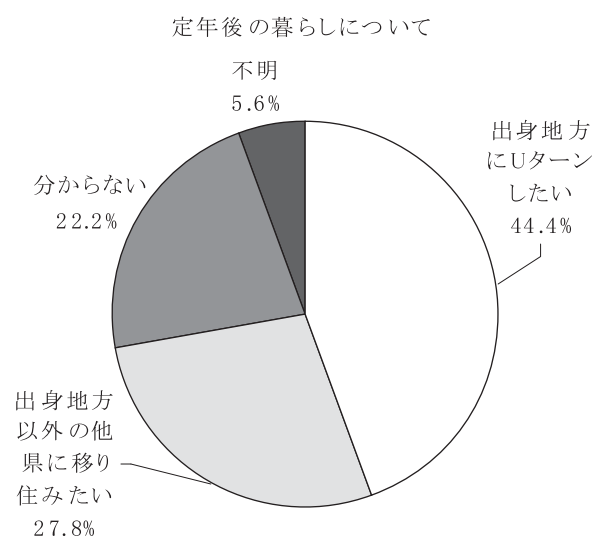
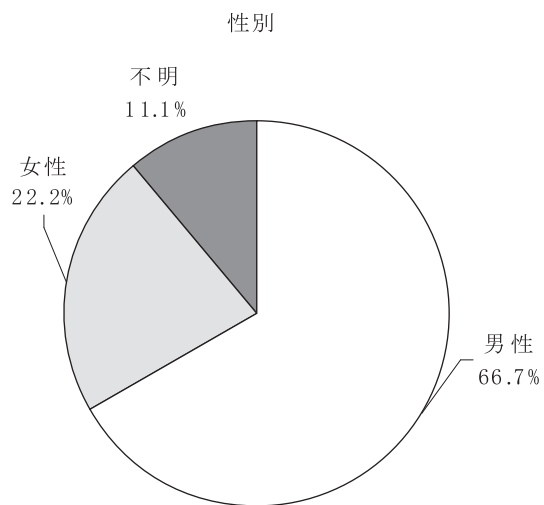
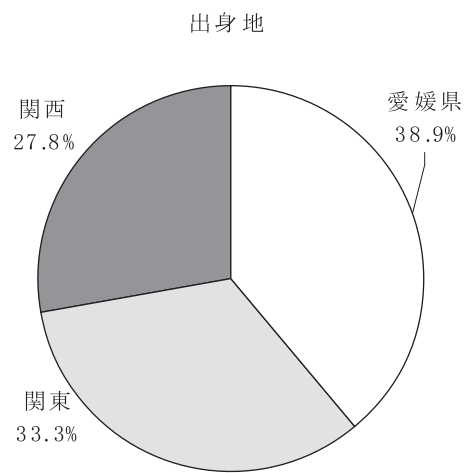
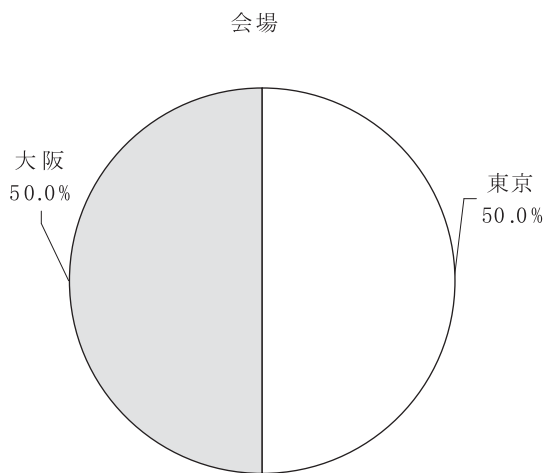
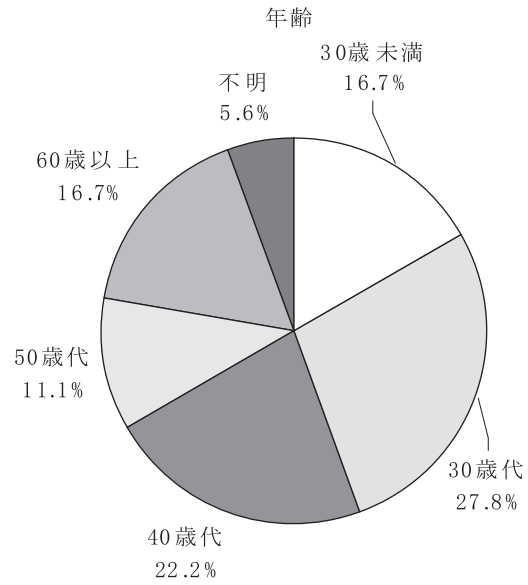
滞在時にしたいことは、家庭菜園やガーデニングが最も多く、次にお遍路が挙がっている。



移住の条件としては、自然環境がよいことが最も多く、都市圏生活者が、愛媛県に求めるものとして、自然環境の豊かさが根強くあることが、ここでもわかる。

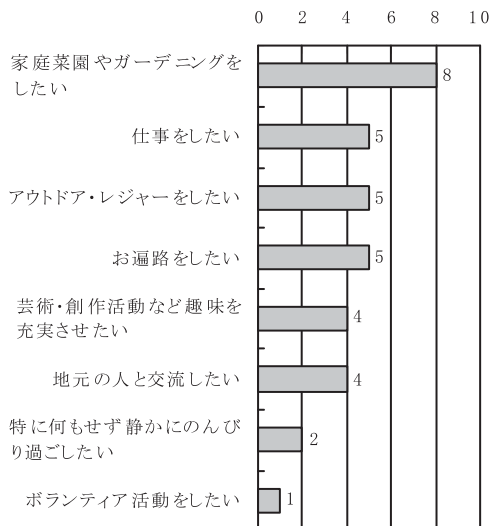
最後に四国への移住に関心があり、滞在地として愛媛を選んだ18名について見てみよう。

以下のグラフで示されるとおり、愛媛への移住に関心を持っているのは、40歳代以下が3分の2を占めるなど、働き盛りの層が多い。愛媛県出身者が4割近くいるなどUターン志向も見られるが、Iターン希望が6割を占めている。居住先や移住の条件をみると自然志向が強いこと、勤労意欲が高いことに特徴がある。





都市圏における愛媛への移住・交流の意向について  
 ～“癒しの国・四国”交流・定住促進フェア アンケートより～



<本稿は、“癒しの国・四国”定住・交流促進事業実行委員会から受託した「四国への交流・定住ニーズに関するアンケート調査集計及び分析業務」報告書をもとに作成したものである。>

(当センター主任研究員 武智 公博)

